

氷見市長 菊地正寛

(1) 地域農業の現状と課題

(2) 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域の概要

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別途地図のとおり)

(1) 農用地の集積、集団化の方針

(2) 農地中間管理機構の活用方針

(3) 基盤整備事業への取組方針

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

地区内の作業の効率化・省力化を進めるためにドローンなどによる防除作業をはじめ農作業委託の活用を図っていく。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください。）

【選択した上記の取組方針】

スマート農業機械の導入や経営管理システムを促進し、省力化、効率化に引き続き取り組み、収益を確保する。
地域の特産である「氷見稲積梅」を栽培し、付加価値による収益を確保する。